

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	姉妹都市交流事業	コード	16504
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等	企画政策部	課等	秘書広報課 秘書担当	作成者	荻原 浩樹
--------	----	-------	----	------------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち		
		政 策	市政運営の推進	施 策	その他
		予算科目	姉妹都市交流事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	岡谷太鼓祭りへ姉妹都市関係者を招待するとともに、各都市のイベント等に参加する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	姉妹都市間の相互理解を深めるとともに交流の充実を図る。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>○岡谷太鼓祭りでの交流（8月13日～14日） 内 容：富岡市、玉野市、東伊豆町の関係者（市・市議会・商工会議所・観光協会）を招き交流を深めた。 参加者：富岡市14名、玉野市5名、東伊豆町12名、岡谷市24名 合計55名</p> <p>○玉野市の「たまの・港フェスティバル」に参加（5月18日～19日） 内 容：市、商工会議所、観光協会等から7名が参加し、交流を深めた。</p> <p>○東伊豆町との交流 「熱川温泉花火大会」に参加（7月21日～22日） 内 容：市、市議会、商工会議所、観光協会から12名が参加し交流を深めた。</p>		
前年度の課題への対応	姉妹都市のイベント等へ参加する中で岡谷市のPRを行った。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）				単位	回
実績値	4	4	3		
* 指標の説明	交流回数				
② 成果指標（指標名）				単位	人
目標値	73	85	70		
実績値	81	93	74		
達成度	111.0%	109.4%	105.7%		
* 指標の説明	交流事業への直接的な参加人数（富岡市とは隔年交流）				
* 目標値の設定方法の説明	前々年度実績数値による（富岡市とは隔年交流）				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	397,550	305,043	295,716	587,000
経常経費	197,750	212,078	247,862	342,000
臨時的経費	199,800	92,965	47,854	245,000
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	0
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	
③ 合計コスト(①+②)	1,197,550	1,105,043	1,095,716	587,000
前年度比		92.3%	99.2%	53.6%
財源	1,197,550	1,105,043	1,095,716	587,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	249,438	253,020	349,287	
前年度比		101.4%	138.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
姉妹都市交流事業開 催市負担金	件数	1	1	1	1
	金額	110,780	145,780	140,780	189,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	110,780	145,780	140,780	189,000
	割合	27.87%	47.79%	47.61%	32.20%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 79.6%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 105.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 直接的に市民も参加できる姉妹都市交流事業の実施。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 現在、祭事を中心に姉妹都市交流を行っているが、民間レベルでの姉妹都市交流の充実や別の形の交流を検討する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	--	--